(注)

繁殖雌牛	黒毛和種など専ら肉用子牛を分娩（出産）するために飼養される雌牛。
牛房群飼	１つの牛房の中で複数の牛を飼う方法。牛が牛房の中を自由に歩き回ることができる。連動スタンチョンとセットで用いられることが多い。
連動スタンチョン	スタンチョンは牛に飼料を給与するなどの際に牛をつかまえる装置。連動スタンチョンは、連続したスタンチョンの開閉を同時に行うことができるシステム。
分離給与	粗飼料と濃厚飼料を別々に給与する方式。昔ながらの給与スタイル。
公共牧場	牛を預託して放牧など集団的な飼養管理を行う牧場。市町村、農協などが設置。
混播（牧草）	牛の栄養バランス、草地の生産性を考慮して、イネ科牧草とマメ科牧草を混ぜて播種すること又はその牧草。
コントラクター	飼料生産受託組織。飼料作物の作付けや収穫などを専門的に請け負う組織のこと。
ほ乳ロボット	子牛へ自動的に代用乳を与える装置。省力化だけでなく、子牛の発育管理に役立ち、子牛を早くから集団管理に慣らすことができる。
繋ぎ	牛を畜舎で１頭ずつ繋いで飼う方法。昔ながらの飼養スタイル。
ＣＢＳ	キャトル・ブリーディング・ステーションの略。繁殖経営で多くの労働時間を費やす、繁殖雌牛の分娩・種付けや子牛のほ育・育成を集約的に行う組織。農協などが設置。
ＣＳ	キャトルセンターの略。繁殖経営で生産された子牛のほ育・育成を集約的に行う組織。センターによっては繁殖雌牛の預託も行う。農協などが設置。
水田放牧	牧草などを作付けした水田に放牧すること。転作田の活用や、耕作放棄地の荒廃防止の効果も期待できる。
早期離乳	分娩後の繁殖雌牛と子牛を早期に分離することにより、繁殖雌牛の次回の種付時期が早まり、生産性が向上する技術。
稲ＷＣＳ	稲発酵粗飼料の略。稲の子実と茎葉を同時に収穫し、サイレージ（発酵粗飼料）として調製された飼料。
イタリアン	イタリアンライグラス。イネ科。湿害に強いことなどから、関東以西の水田の裏作を中心に作付けされ、嗜好性に優れる。
スーダン	スーダングラス。イネ科。暑熱倒伏に強く、再生力が強いことから高収量が期待できる。

3　肉用牛（肥育・一貫）経営指標

No.	1	2	3
【立地条件】	土地条件の制約が大きい地域（主として都府県）		土地条件の制約が小さい地域 （主として北海道）
【立地条件】	畑又は水田	畑又は水田	畑
【経営形態】	法人	家族	法人
【飼養形態】	肉専用種繁殖・肥育一貫 肥育100頭 繁殖50頭	肉専用種肥育 150頭	乳用種・交雑種育成・肥育一貫 肥育400頭 （乳用種320頭 交雑種 80頭） 育成170頭 （乳用種140頭 交雑種 30頭）
飼養方式	牛房群飼 連動スタンチョン	牛房群飼	牛房群飼
給与方式	分離給与 稲ＷＣＳ利用	分離給与 稲ＷＣＳ利用	ＴＭＲ
放牧利用	—	—	—
ふん尿処理方式	たい肥化	たい肥化	たい肥化